

学校概要

創立 78 周年	学校長 大島 宏二	副校長 小黒 裕子	学期 2 学期制	児童・生徒数 416 人
学級数 一般級: 12 個別支援級: 3		主な関係校: 生麦中学校・生麦小学校・寺尾小学校		

学校教育目標

〔希望〕 社会に視野を広げ、たくましく未来を拓く意欲をはぐくみます 【知】【開】  
 〔幸福〕 生命や健康を大切に、主体的に課題を解決する力を高めます 【徳】【体】  
 〔他愛〕 互いを認め合い、まちを愛しまちのために役立つとすることを育てます 【公】【開】

【知】 主体的に課題や問題を解決する子ども 【徳】 互いを認め合う豊かな人間関係をつくる子ども 【体】 自他の生命や健康を大切にす  
 る子ども 【公】 自分たちのまちを愛する子ども 【開】 社会に視野を広げ、共に生きる子ども

学校の特徴

本校の卒業生は自治会長などで活躍し、これらの方々や地域住民の本校に寄せる思いは熱く、学校に対してとても協力的である。さらに、PTA役員OBによる「PTA OB会」や、保護者OBや地域住民による「PTA協力会」が組織され、現在のPTA組織との連携も大変密接である。また、小中一貫教育推進ブロックの生麦中学校のみならず、法政女子高等学校や杉山神社保育園とも隣接や近隣関係にあり、人材を含めた地域資源が豊富である。本校はこれまでの3年間、文部科学省や市教委の研究指定の委嘱を受け、算数科を重点教科として学力向上・授業力向上に向けた取組を行ってきた。学習状況調査の結果からは、今後もさらに「基礎・基本の定着」を目指すとともに、家庭とも連携しながら基本的な生活習慣や学習習慣の確立を図っていくことが必要な状況である。

学校経営中期取組目標

学校教育目標実現のために、〔希望〕〔幸福〕〔他愛〕あふれる、児童・保護者・地域・教職員にとって魅力ある学校づくりを進めます。

- 一人ひとりの子どもが、日々の授業や様々な行事等において、主体的に課題を解決する学びを大切に、授業力の向上に取り組めます。
- 一人ひとりの子どもに寄り添い、互いを認め合う心、豊かな心、そして、たくましく健やかな体を育むように努めます。
- 一人ひとりの子どもの学びと生活を支える教育環境の整備、改善を進めます。
- 一人ひとりの子どもが、地域の行事や交流活動を通して、まちに貢献する心を育みます。また、近隣の幼保小中高大学連携を進め、教育活動の充実を図ります。

小中一貫教育の取組

生麦中学校	ブロック	生麦中学校・岸谷小学校・生麦小学校・寺尾小学校
9年間で育てる子ども像	○「まち」と関わり合いながら学び、「まち」を大切にす子ども ○「まち」の様々な方々や文化・行事などの関わりを通じて、豊かな情緒をもつ子ども ○学習や生活の良い習慣を身につけ、自分の力を伸ばそうと努力する子ども	
自校の具体的取組	9年間で身に付ける力を理解した上で日々の授業を実践し、確かな学力を身に付けて中学校に進学できるようにします。中学校吹奏楽部演奏の鑑賞、岸谷まつりでの児童生徒交流、中学校での授業体験・部活動体験等を通して子どもたちが安心感と期待感をもって中学校に進学できるようにしています。	

重点取組分野	取組目標	具体的取組
確かな学力	基礎・基本の定着とともに、育成を目指す資質・能力を明確にし、主体的・対話的で深い学びを大切に授業を追求します。	自ら問題を見出し、互いにかかり合いながら問題の解決に取り組む等、主体的・対話的で深い学びの実現を目指し、問題発見・解決を踏まえた学び方等、学力向上アクションプランの取組として全学年で実践していきます。朝のスキル・読書タイム、発達段階に応じた家庭学習を実施し、学習の習慣化、基礎的・基本的な学習事項の定着を図ります。
豊かな心	道徳の時間のより一層の充実を図り、各教科等の授業を含む様々な教育活動において、自他を大切にする心情や態度、自己肯定感を育みます。	道徳の年間指導計画見直しを行います。新しく道徳の教科書を使用するため、そこで扱われている資料の内容・価値について教材研究を深め、適切に指導ができるようにします。平和スピーチ発表会、人権月間の取組を工夫し、自他を大切にす心情や態度を養うよう努めます。授業参観で年1回以上の公開をし、保護者との連携強化を図ります。
健やかな体	一校一実践運動を通して、体力向上を目指します。学校保健委員会では「運動をしてじょうぶな体をつくらう」をテーマに取り組みます。	体力づくりタイムでは引き続き、縄跳び・持久走に取り組めます。また、記録を意識して取り組めるよう記録測定会を設定したり、カードを用意したりしながら体力づくりへの意識を高めます。学校保健委員会でも引き続き、運動を通しての丈夫な体づくりを目指します。体力づくりタイムの準備運動に「子どもロコモ予防体操」を取り入れ、運動機能の低下を予防します。
児童指導	「岸谷スタンダード」を基に、すべての教職員の指導の方向性を揃え、毎日の学校生活を児童が落ち着いて送ることができるよう努めます。	「学習のルールが守られているか」という授業参観保護者アンケートの結果が低下していることを受け、教職員の「岸谷スタンダード」の理解と指導の徹底を一層図るようにします。月に1度以上、学年を超えた児童理解の会合を設け、情報共有や児童指導に関する組織的な対応を速やかに行えるようにします。
特別支援教育	特別な支援を必要とする子どもについて共通理解を図り、個々の特性や状況に応じた指導を行います。一般級と個別支援級の連携を密にします。	特別な教育支援を必要とする子どもに対し、学習だけでなく学校生活での支援や友達との関わり方の支援ができるよう、校内委員会を開催し子どもの見とりを丁寧に行います。また、岸谷スタディールーム(グループ学習・算数少人数学習)を継続して実施します。算数少人数学習は対象を3～6年生に拡大し、基礎的・基本的な学習内容の定着を図ります。
学校運営協議会	人材を含めた地域資源をより効果的・効率的に学校運営に反映させ、学校運営改善に資する機関となるよう活動していきます。	学校運営協議会委員に行事や授業を参観していただいた後に給食ミーティングを行い、効果的・効率的に学校運営に反映させていくための協議を行っていきます。授業参観や運動会・岸谷ふれあいコンサート・餅つき等の学校行事等、年間を通して保護者から授業評価や学校評価アンケートをとり、よりよい授業・参観形態・学校運営に向け改善に努めます。
いじめへの対応	児童一人ひとりが受け入れられていると実感できる受容的な環境を作ります。職員間の情報共有・連携を密にし、問題行動の早期把握・解決に努めます。	いじめの起きにくい学級風土をつくるため、子どもの居場所づくり、絆づくりを進めます。また、子どもの健全な発達を促し、問題を回避できる子どもを育てるために、「子どもの社会的スキル横浜プログラム」を取り入れた実践を計画的に位置づけ、親和的な集団づくりを進めます。個性の尊重、相互理解を大切に個が大切にされる魅力ある授業を展開します。

人材育成・組織運営	学習指導や児童指導双方の実践力、コンプライアンスや危機管理等の意識の向上を図り、チームの組織力を高めます。業務の改善・効率化を進めます。	5年次以下の教員でステップUPチーム、その他でキャリアUPチームを組織し、授業や研修を通して学習指導・児童指導のスキルUPを図ります。日々の実践へつなげ、機能するよう校内OJTを促進し、危機管理について組織的に対応していけるよう、キャリアアップチームによる不祥事防止研修をより一層強化し、互いに相談できる環境づくりを目指します。
担当	教務部	